

施策・基本事業評価表

優先度:成果=中。財源=低。●地域支援課

番号	施策名	施策の対象	施策のねらい	区分	施策の成果指標(単位)	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	前期 目標値	24年度	25年度	26年度	28年度 (目標値)	評価	評価の判定理由と原因分析の説明	今後の取り組み等
6-5	市民との協働による交通安全体制の充実	市民	交通事故が少なくなり、死傷者数が減っている	成果	交通事故発生件数(件) (千人あたりの件数)(件) ※実件数は17年度以降を把握	527 (10.9)	510 (10.6)	475 (9.9)	463 (9.5)	427 (9.5)	389 (8.0)	422 (8.7)	↓	466 (9.5)	410 (8.3)	428 (8.7)	↓	横ばい	交通事故発生件数は、昨年より18件増加し、毎年多少の増減があつているが、平成23年とほぼ同じで件数であるため、横ばいと判断する。	交通事故の発生件数の内容を見てみると、高齢者の事故が増加しているようである。 警察、交通安全協会、安全安心まちづくり推進協議会等と連携し、交通安全の啓発、反射板等の配布を行っていく。
				成果	交通事故死傷者数(人) (千人あたりの死傷者数) (人) ※実件数は17年度以降を把握	662 (13.8)	639 (13.3)	616 (12.8)	596 (12.3)	562 (11.5)	489 (10.0)	567 (11.6)	↓	583 (11.9)	567 (11.5)	↓	578 (11.8)	↓	横ばい	交通事故死傷者数は、昨年より11件増加し、毎年多少の増減があつているが、平成23年と比較しても、ほぼ変わらないような件数であるため、横ばいと判断する。

番号	基本事業名称	基本事業の対象	基本事業のねらい	区分	基本事業成果指標(単位)	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	前期 目標値	24年度	25年度	26年度	28年度 (目標値)	評価	評価の判定理由と原因分析の説明	今後の取り組み等
01	交通安全教育と啓発の充実	市民(特に高齢者・幼児及び乳幼児の親)	交通安全についての市民の知識が高まり、交通ルールを守り、交通安全を心がけるようになっていく。	成果	交通ルールを順守している市民の割合(%)	83.7	85.8	83.8	85.1	84.9	85.1	86.8	↑	89.8	87.1	86.5	↑	横ばい	交通ルールを順守している市民の割合は、今年度86.5%と前年比では0.6ポイント減少しているものの、目標値の88%に近い数字で推移している。評価は横ばいと判断する。	これまでの交通安全に対する啓発活動等により、交通安全についての市民の意識、交通ルールの知識が高まっているようである。これからは、警察、交通安全協会、安全安心まちづくり推進協議会等と連携し、交通安全教育、啓発活動を行っていく。
02	地域での交通安全推進活動の充実	市民	地域で交通安全を推進する気運が高まり、住民参加等による交通安全活動が行われている。	成果	交通安全活動を行った市民の割合(%)	6.2	11.7	10.2	10.8	11.7	9.7	13.3	↑	14.3	13.4	9.6	↑	不調	交通安全活動を行った市民の割合は、平成26年度は9.6%と前年比3.8ポイント減少となった。 登下校の見守りなどは、各校区で行っているが、役員などの固定化した人達になっているため、今回このような結果になったのではないかと推測する。 平成25年度までは、14%前後と目標値の15%に近い数字で推移しているが、今回の評価は不調と判断する。	これからは、地域の安全安心まちづくり推進協議会等の活動を支援していくとともに、警察、交通安全協会等の関係機関と連携し、幅広く参加してもらえるような活動を推進していく必要がある。
03	交通安全施設の整備	市内全域	・交通安全施設(道路照明灯、カーブミラー、ガードレール、区画線等)が、適切に整備、維持管理されている。 ・信号機、横断歩道等が配置され、安全性が高まる。	代替	交通安全施設整備割合(%)	-	-	-	-	-	0	14.0	-	54.6	81.3	103.6	100	目標達成	目標数値は、現段階で達成しており地域からの整備要望に対しても順調に対応できている。また、通学路対策事業においても区画線の整備など通学路における危険箇所を無くしていき、今後とも、地域との協働により安全施設の整備を進め安全安心なまちづくりを進めていく必要がある。	平成26年度に通学路交通安全プログラムを策定し、平成27年度より本格的に実施を行っていく。継続的な通学路での危険箇所の抽出と対策を行っていく地域、学校及び警察等と連携し、通学路の整備をさらに充実させ、さらなる安全安心のまちづくりを目指す。
					カーブミラー(基)	-	-	-	-	-	0	10	-	33	53	72	127			
					ガードレール(m)	-	-	-	-	-	0	563	-	1,530	2,193	3,401	2,098			
					道路の白線(m)	-	-	-	-	-	0	1,447	-	12,687	19,391	21,172	19,527			